

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)高槻市富田町1丁目計画	階数	地上8F
建設地	大阪府高槻市富田町1丁目	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域	平均居住人員	114 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年11月 予定	評価の実施日	2022年4月26日
敷地面積	1,603 m ²	作成者	株式会社カノンアソシエイツ 一級建築士
建築面積	674 m ²	確認日	2022年4月26日
延床面積	3,514 m ²	確認者	株式会社富士設計 河野 展之



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.6

音環境	3.1
温熱環境	4.0
光・視環境	3.7
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

機能性	3.6
耐用性	3.0
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.9

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.4
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1

水資源	3.4
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.7
地域環境	2.8
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	建物利用者の快適な生活環境を維持することを目指している。安全性の面からF☆☆☆☆の内装材を採用、耐用年数の高い建材の使用やリサイクル材の使用は資源の有効利用につながる。	その他 特になし
Q1 室内環境	F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に使用、室内環境に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 沿道に緑地を配し、良好な環境を形成している。
LR1 エネルギー	LED照明等、設備システムの効率化に配慮している。	LR3 敷地外環境 路上駐車させないように、適切な台数の駐車・駐輪場の設置や管理用車両の駐車施設を確保している。
Q2 サービス性能	住宅性能表示基準で劣化対策等級3を取得し、耐用年数の長い建物としている。また情報社会に対応し光配線を導入し、1Gbitのブロードバンドを利用できる。	
LR2 資源・マテリアル	ノンフロン断熱材を採用し、室内の良好な環境に努めている。またリサイクル材を採用し、資源の有効利用に心がけている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0018

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)高槻市富田町1丁目計画					
	建設地	大阪府高槻市富田町1丁目					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					4	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.4	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		